



感謝状を手にする折下さん＝折下さん提供

ジャカルタ漁港の設計や建設に協力

折下さんにJICA感謝賞

北ジャカルタ・ムアラバにあるジャカルタ漁港の設計や建設、管理、アドバイスなどに40年近く従事してきた折下（おろしも）定夫さん（68）がこのほど、国際協力機構（JICA）の「JICA国際協力感謝賞」を受賞した。

同賞は、JICA業務に長年協力、功績を収めた個人・団体に贈られる。東京都新宿区のJICA市ヶ谷ビルで13日、表彰式に出席した折下さんは「長い間、一つのプロジェクトに愛着と責任を持ち、根気よく務めてきたことが評価され

れしく思う」と喜びを語った。

折下さんによると、地盤の軟弱なジャカルタ湾に建設されたジャカルタ漁港は、地盤沈下対策など技術的な課題が多かった。何度も事業がとん挫しかけたが、「インドネシア政府に問題提起しながら、日本政府には事業継続の必要性を粘り強く訴えた。一生懸命

やっていたれば味方が増える」と実感した」という。

折下さんは、1971年に政府開発援助（ODA）案件を扱う開発コンサルタント会社に入り、JICA事業に長年従事してきた。ジャカルタ漁港整備では78年から事業に参画。84年の開港後、2005、12年の汚水処理場整備や地盤のかさ上げ、マングローブ植

樹による護岸などにも携わった。

13年からはアドバイザーとして活動を続け、漁港管理者へのアドバイスや見学者受け入れ、関連書籍も出版。ODA事業の情報発信や理解促進への貢献も評価された。今後は、同漁港が築地のような新たな観光地になるよう協力を続けたいという。

（毛利春香）